

シェアサイクル定着へ

オリコンサル、藤沢市で
路線バスとの連携効果検証

オリエンタルコンサルタンツは、2032年度に開業予定のJR東海道本線村岡新駅（仮称、神奈川県藤沢市）周辺で、シェアサイクルの効果を測る実証実験を行っている。サイクルポートを設け、路線バスとの連携効果を検証。自家用車に頼り過ぎない交通環境づくりの一環として、シェアサイクルの定着を目指す。

社会実験は藤沢市から受託した。モビリティのシェアシステムを提供するOpenStreet（東京都港区、工藤智彰社長）、江ノ島電鉄らが協力している。オ

リコンサルは実験の企画運営や情報提供システムの構築、利便性向上の検討などを担う。

実験は市内の村岡地区で1～30日に実施している。OpenStreetが市内で運営するシェアサイクル「HELLO CYCLING」のポートを十数カ所増設。地区内にある2カ所のバス停で、発車予測時刻やシェアサイクルの空き情報を提供し、移動の利便性アップにつながるかどうかを確かめる。バス停に設けた2次元コードを読み取って情報提供。バスの発車予定時刻やシェアサイクルの貸し出し情報が把握できるようにする。バス待ち空間を設け、シェアサイクルの認知向上や地域活性化への波及効果も検証する。